

阿武隈川河口部復旧・復興事業完成式を行いました！

3月4日（土）、岩沼市民会館において岩沼市、亶理町、国土交通省東北地方整備局主催による「阿武隈川河口部復旧・復興事業完成式」を行いました。

東日本大震災で被災した阿武隈川の新浜水門や河口部河川堤防など、河川管理施設の復旧を震災直後から進めてきました。震災から約6年経過した平成29年3月末に、河口部河川堤防については一連区間で計画の高さであるT.P.（※）+7.2mを確保、新浜水門については完成する見通しとなり、仙台湾南部海岸堤防と一丸となった地域の津波防災体制が更に前進することになります。

※T.P.とは・・・東京湾の平均の海面高さを基準面として表した高さであり、一般的に標高などに用いられている。



「寺島堤防の碑 除幕式」

2011年3月11日に発生した東日本大震災と、大津波の被害からこの寺島堤防に避難し多くの命が救われたことを後世へ伝えるために地元岩沼市と連携し建立した石碑です。



寺島地区住民の方々と石碑を囲んで記念撮影

【石碑碑文】

2011年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震によりこの地に大津波が押し寄せた。この千年に一度の大津波に太平洋沿岸地域幾多の尊い命を奪うなど甚大な被害をもたらした。この寺島堤防は迫り来る大津波から避難した寺島地区の方々の避難の場となり多くの方々が救われた。この碑は震災の記憶と経験を後世へ伝えるために建立するものである。

2017年3月 岩沼市 国土交通省仙台河川国道事務所

